

一般国道116号 吉田バイパスにおける計画段階評価

1. 燕市中心部(吉田地区)の課題

① 渋滞による旅行速度の低下

- 当該区間には主要渋滞箇所が6箇所存在。
- 特に市街地部では、日中を通して速度が20km/h～30km/h台と特に速度低下が著しい。
- 当該地区周辺には金属工業団地が集積し、当該区間は物流経路の1つであるが、渋滞により、円滑な物流を阻害。【写真1】



写真1 春日町交差点付近渋滞状況



市街地部では日中を通して速度低下が著しい

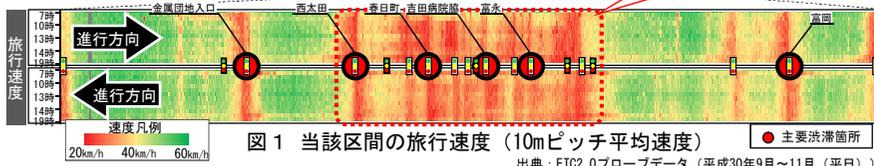


図1 当該区間の旅行速度 (10mピッチ平均速度) 出典：ETC2.0プローブデータ (平成30年9月～11月 (平日))

② 交通事故多発区間による安全性低下

- 当該区間は、事故危険区間が4区間存在し、年間約30件の死傷事故が発生。【図2】 (新潟県内直轄国道平均の1.9倍)

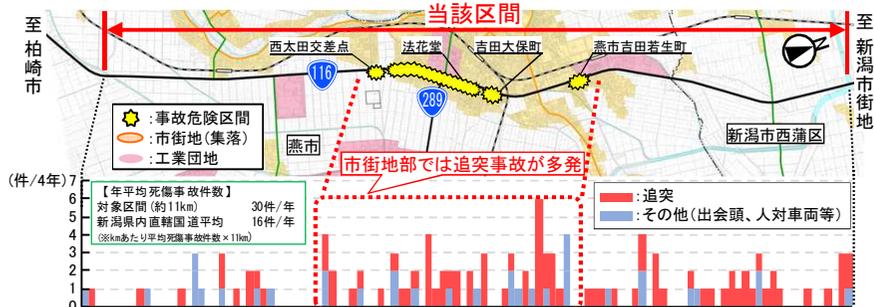


図2 当該区間の死傷事故件数(H26～H29合計)

③ 騒音による沿道環境悪化

- 当該区間周辺には工業団地が数多く立地。
- 大型車混入率が高く、ほぼ全線に渡り、昼夜間において環境基準を超過。
73db (当該区間の最大騒音値(昼間)) > 70db (昼間の環境基準)
70db (当該区間の最大騒音値(夜間)) > 65db (夜間の環境基準)

2. 原因分析

① 国道116号の交通負担集中

- 燕市周辺では、南北地域間の交通流動が多く、国道116号に交通が集中し渋滞が発生。【図3】
- 当該地域の国道116号利用交通は、周辺道路より通過交通が多い。【図4】

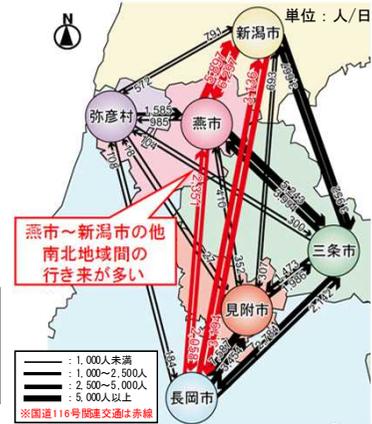


図3 通勤通学動態 (燕市及び隣接市町村)

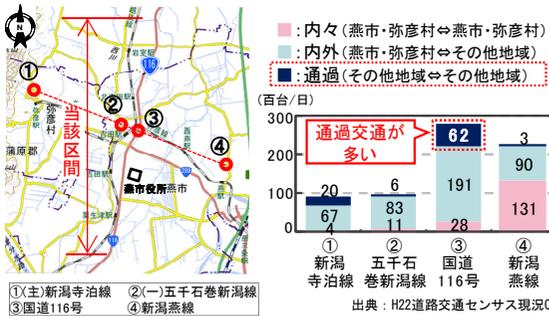


図4 国道116号及び周辺道路のOD内訳 出典：H22道路交通センサス現況00

② 安全な幹線道路としての機能が不十分

- 当該区間沿道には店舗が多く立地しており、沿道出入交通や、信号交差点の連続により速度が低下。
- 速度低下に伴う追突事故が多発しており、全体の約7割を占める。【図5】

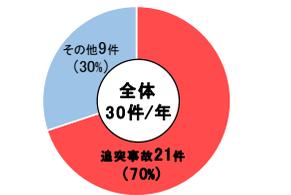


図5 当該区間の事故類型割合 (H26～H29平均) 出典：H26～H29ITARDAデータ

③ 高い大型車混入率

- 当該区間の大型車混入率は、最大で24.2%であり、県内直轄国道平均 (DID地区：8.6%, 市街地部16.0%) に比べ高い。【図6】

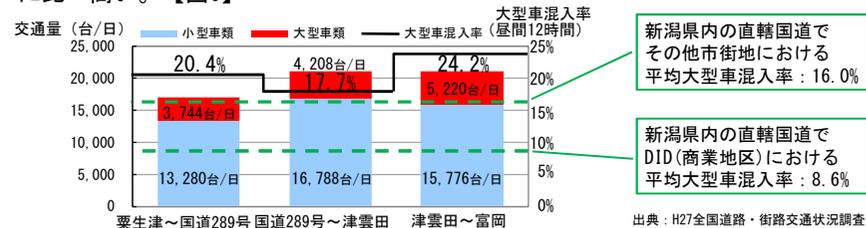


図6 当該区間の大型車混入率 出典：H27全国道路・街路交通状況調査

3. 政策目標

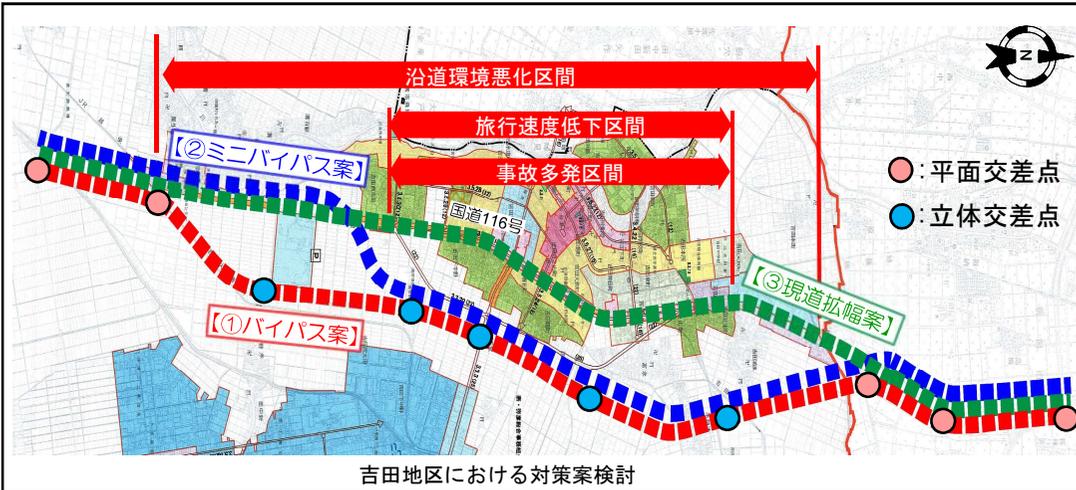
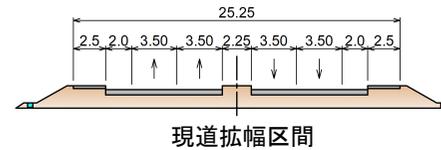
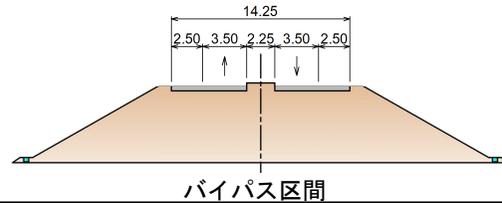
- ① 現道とバイパスの適切な交通分担により、交通混雑を改善
- ② 安全・安心な走行空間の確保により、地域の安全性を向上
- ③ 大型車のバイパスへの転換により、現道の沿道環境を改善
- ④ 物流の効率化により地域の産業活動を支援

一般国道116号 吉田^{よしだ}バイパスにおける計画段階評価

4. 対策案の検討

		①バイパス案	②ミニバイパス案	③現道拡幅案
ルート概要		現道の課題区間を迂回する案	一部の課題区間のみを迂回	現道2車線を拡幅(車線数増加)
政策目標	交通の円滑化	バイパスへ交通が転換することにより、交通混雑が緩和。 ◎	バイパスへ交通が転換することにより、交通混雑が緩和。 ◎	交通容量が増加するが、信号交差点の連続が残るため、交通混雑が緩和されない。 △
	交通安全の確保	交通が転換することにより、交通事故が減少。 ◎	交通が転換することにより、交通事故が減少。 ◎	信号交差点の連続が残るため、追突事故等は減少しない。 △
	沿道環境の改善	大型車両等を中心とする通過交通がバイパスへ転換することにより、沿道騒音が抑制。 ◎	交通渋滞・事故が顕著な区間のみを迂回するため、現道の沿道環境(騒音)の課題が残る。 ○	現道に大型車等の通過交通が残るため、全区間で沿道環境(騒音)は改善されない。 △
	物流の円滑化	物流車両がバイパスへ転換し、走行性が確保されることから、物流の効率化に寄与する。 ◎	走行性に優れるが、バイパス区間が短いため、物流効率化に対する効果が小さい。 ○	信号交差点が多い現道を通過するため、物流に対する効果は見込めない。 △
経済性		340~360億 ◎	360~380億 ○	420億~440億 △
総合評価		◎	○	△

標準断面図



対応方針(案)：①バイパス案による対策が妥当

【計画概要】

- ・ 路線名：一般国道116号
- ・ 区間：新潟県燕市熊森～新潟市西蒲区高橋
- ・ 概略延長：約11km
- ・ 種級区分：第3種第1級
- ・ 設計速度：80km/h
- ・ 車線数：バイパス部2車線
現道拡幅部4車線

(参考) 当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

- ・ H30. 3 計画段階評価(北陸地方小委員会) 対応方針(案) 決定
- ・ R 1. 12 都市計画決定(都市計画道路 国道116号吉田バイパス) 地域の要望等
- ・ H29. 6 国道116号改良整備促進期生同盟会が早期事業化を要望
- ・ H29. 11 国道116号吉田バイパス整備促進協議会が早期事業化を要望
- ・ H30. 11 国道116号吉田バイパス整備促進協議会が早期事業化を要望
- ・ R 1. 6 国道116号改良整備促進期生同盟会が早期事業化を要望
- ・ R 1. 11 新潟県燕市、国道116号吉田バイパス整備促進協議会が早期事業化を要望
- ・ R 2. 2 新潟県燕市が早期事業化を要望